

# 2021年度 環境データ集

## ＜事業活動で発生する環境負荷の削減＞

事業活動で発生した廃棄物は関連法令に沿って処理し、自治体の区分に従って分別しなければなりません。ユーコープは法令やルールに従うだけでなく、法令の主旨を積極的に理解して、排出削減やリサイクルに取り組んでいます。

また、大切な資源である水を無駄にしないよう節水にも取り組んで、事業活動による環境負荷を少なくするようにしています。

新型コロナウイルス感染拡大により供給高が急増した2020年と比較して、廃棄物の排出量は減少しました。ただし、2019年度と比較すると供給高が増えているため2019年度比では若干増加しています。(2021年度供給高 2020年度比98.0% 2019年度比113.0%)



### 事業系廃棄物（可燃ごみ）排出量の推移

事業所で発生する廃棄物のうちリサイクルの可能な食品残さ（3種類）と廃プラスチック（2種類）は分別リサイクルすることで可燃ごみの排出量を減らすようにしています。



### 段ボールリサイクル量の推移

商品などが入っていた段ボールは古紙回収会社に売却し、段ボール原料などとしてリサイクルしています。



### 食品残さリサイクル量（廃食油、魚アラを含む）の推移

店舗で発生した葉くずや廃棄食品、魚アラなどの食品残さは、分別した後、専門業者に委託して肥料や飼料にしています。店舗で不要になった廃食油も飼料や洗剤などにリサイクルしたほか、神奈川県内の店舗の廃食油はバイオディーゼル燃料にリサイクルし、1カ所のおうちCO-OP宅配センターで配送トラックの燃料として使用しました。



### 上下水道使用量の推移

#### ＜水の使用量の推移＞

水使用量が多い事業所に節水機器を設置して、さらに節水に取り組みました。



※水使用量、可燃ごみ・食品残さ排出量に本部、物流センター、商品検査センターの実績は含んでいません。